京都市：京都の文化・暮らしの脱炭素化で地域力を向上させるゼロカーボン古都モデル

環境省

脱炭素先行地域の対象：**伏見エリアを中心とした文化遺産、商店街エリア等**
主なエネルギー需要家：文化遺産100箇所、3商店街187全加盟店、既存住宅100戸、新規住宅414戸、大学・キャンパス等65施設

取組の全体像

京都文化の象徴である伏見稲荷大社・藤森神社・醍醐寺・地域寺院等の文化遺産100箇所に太陽光などの再エネ設備・蓄電池を最大限導入し、**文化遺産の脱炭素転換モデル**を構築するとともに、商店街には**ソーラーアーケード**等を整備し、既存住宅で居室等の部分改修を含めた**ZEHレベル化改修**を促進。京都広域再エネグリッド協議会では、市遊休地へのオフサイト太陽光発電の導入や**エネルギーマネジメント**を行い、電気料金の一部を寺社や商店街の活動費として還元。また、脱炭素化した寺社をEVタクシーで巡る**ゼロカーボン修学旅行**や大学等のグリーン人材育成拠点の脱炭素化により、**他地域への波及効果**を創出。

1．民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

① **文化遺産(寺社)**に太陽光などの再エネ設備(2,078kW)・蓄電池の最大限導入を駐車場や関連施設屋根等導入箇所を工夫して行うことや、機器の省エネ改修、再エネ調達により脱炭素化
② 伏見3商店街で**ソーラーアーケード(560m)**の整備や省エネ改修を実施
③ 地元工務店、大手ハウスメーカーで構成される優良ストック住宅推進協議会と連携して、既存住宅リフォーム需要を掘り起こし、部分改修を含んだ**ZEHレベル化改修**を促進するとともに、伏見工業高校跡地等において、新たに**次世代ZEH＋街区**を形成
④ 発電事業者、小売電気事業者等からなる**京都広域再エネグリッド協議会**を設置し、市遊休地への**オフサイト太陽光発電**(2,600kW)の導入やエネルギーマネジメントを実施
⑤ 脱炭素転換を牽引するグリーン人材を育成し、育成拠点である立命館大学・龍谷大学等を脱炭素化

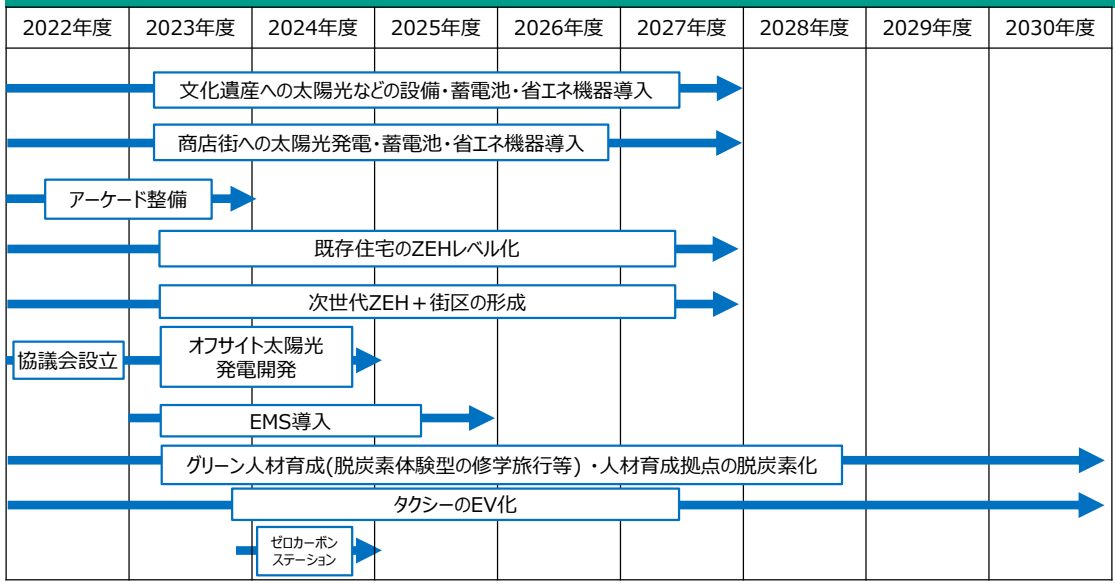
藤森神社

醍醐寺

2．民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

① 点在する文化遺産を巡るモビリティとして、**タクシー(738台)**を**EV化**するとともに、京阪伏見稲荷駅を**ゼロカーボンステーション化**
② EVタクシーで巡る修学旅行生向け学習ツアーを企画し、**ゼロカーボン修学旅行**を実現

3．取組により期待される主な効果

① 寺社等のコミュニティの拠点に再エネ設備・蓄電池を導入することで、**レジリエンス強化**を図るとともに、**文化遺産の脱炭素転換モデル**を構築
② ゼロカーボン修学旅行や大学等の人材育成拠点の脱炭素化により、修学旅行生や大学生の出身地域へ取組を広げる**波及効果**を創出
③ 京都広域再エネグリッド協議会が電気料金の一部を寺社や商店街の活動費として還元し、**再エネの地産地消**と**地域活性化**を同時実現

4．主な取組のスケジュール